



(生89)

平成21年12月9日

都道府県医師会担当理事 殿

日本医師会常任理事

飯 沼 雅



平成22年度医学部入学定員の増員計画について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、今般、文部科学省高等教育局医学教育課において、平成22年度医学部入学定員の増員計画について報道発表がなされましたので、お知らせ申し上げます。

平成22年度の医学部入学定員の増員につきましては、文部科学省より本年7月17日付で、①「地域の医師確保の観点からの定員増」(各都道府県につき、1. 県内大学5人以内、2. 県外大学2人以内(1. と併せて7人以内で増員可)を上限)、②「研究医養成のための定員増」(全国で10人を上限)、③「歯学部入学定員の削減を行う大学の特例」(全国で30人を上限)の3つの枠組みで最大369人の増員を認める旨、示されておりました。(平成21年11月26日(生79)にてご連絡済み。)

しかしながら、この枠組みを踏まえた都道府県や大学の検討は約300人程度に止まったため、①地域の医師確保のための定員増「地域枠」については、都道府県ごとの県内外大学の配分枠を撤廃し、10人を上限に増員を認める、②研究医養成のための定員増「研究医枠」については、全国10人を超える増員を認めることとし、この弾力化により、増員計画の総数が360人となりました。

つきましては、ご参考までに報道発表資料をお送りいたしますので、貴会におかれましてもご了解いただきますよう、お願い申し上げます。

(添付資料)

1. 平成22年度医学部入学定員の増員計画について

(平21.12.7 文部科学省高等教育局医学教育課)

※以下の文部科学省ホームページからもご覧いただけます。

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/12/1287639.htm

[トップ](#) > [お知らせ](#) > [報道発表](#) > [平成21年度の報道発表](#) > [平成22年度医学部入学定員の増員計画について](#)

平成22年度医学部入学定員の増員計画について

2009年12月7日

平成22年度医学部入学定員の増員について、本日、大学設置・大学法人審議会に諮問いたしましたので公表します。

今後、大学設置・学校法人審議会の審議を経て、12月18日に答申等を得る予定であり、12月中に確定する予定です。

(参考)今後のスケジュール

12月18日	大学設置・学校法人審議会からの答申及び回答
	国立大学:審査結果の通知
12月中	私立大学:文部科学大臣の認可
	公立大学:文部科学大臣への届出(期限)

詳細は添付の資料の通りです。

[平成22年度医学部入学定員の増員計画について](#)

お問い合わせ先

高等教育局医学教育課

課長補佐 樋口 聡、企画係長 大橋 美帆子(内線2509)

電話番号:03-5253-4111(代表)、03-6734-2509

(高等教育局医学教育課)

[文部科学省ホームページトップへ](#)

[ページの先頭に戻る](#)

[お知らせ](#) [政策について](#) [白書・統計・出版物](#) [申請・手続き](#) [文部科学省について](#) [教育](#) [科学技術・学術](#) [スポーツ](#) [文化](#)
[ご意見・お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [リンク・著作権について](#)

文部科学省 〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2番2号 電話番号:03-5253-4111(代表) 050-3772-4111 (IP 電話代表) 案内図

Copyright (C) Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

トップ > お知らせ > 報道発表 > 平成21年度の報道発表 > 平成22年度医学部入学定員の増員計画について > 平成22年度医学部入学定員の増員計画について

平成22年度医学部入学定員の増員計画について

平成21年12月7日

1. 経緯

○ 平成22年度の医学部入学定員の増員については、7月17日に、「地域枠」(各都道府県につき1.県内大学5人以内、2.県外大学2人以内(1.と併せて7人以内で増員可)を上限)、「研究医枠」(全国で10人を上限)、「歯学部定員振替枠」(全国で30人を上限)の3つの枠組みで最大369人の増員を認めることを示した。

○ 上記の枠組みを踏まえた都道府県や大学の検討は約300人程度に止まるため、増員目標数の達成を目指し、上記の上限に関わらず都道府県や大学の増員の要望を聴取。

都道府県や大学の意向を尊重し、「地域枠」及び「研究医枠」の増員数の上限を弾力的に運用することとし(詳細は「2. 増員の枠組み」のとおり)、各大学の取組について審査。

2. 増員の枠組み

地域の医師確保のための定員増「地域枠」

都道府県と当該県内外の大学が連携し、下記の要件により地域医療を担う医師の養成・確保に一貫して取り組む定員増(都道府県毎の県内外大学の配分枠を撤廃し、10人を上限に増員を認める)

1. 都道府県が策定する地域医療再生計画に定員増を位置付け、医師確保のための奨学金を設定すること
2. 大学が地域医療を担う意思を持つ者を選抜し、地域医療に関する教育に取り組むこと

研究医養成のための定員増「研究医枠」

優れた教育研究資源を活かし研究医養成の拠点を形成しようとする大学が、他の大学と連携し、下記の要件により優れた研究医の養成・確保に一貫して取り組む定員増

(各大学につき3人以内。全国10人を超える増員を認める)

1. 研究医養成の観点から学部・大学院教育を一貫して見通した特別コース(増員数の倍以上)を設定すること
2. 研究医確保のための奨学金を設定すること

歯学部入学定員の削減を行う大学の特例「歯学部定員振替枠」

歯学部を併せて有する大学が、当該歯学部の入学定員を減員する場合の定員増(各大学10人以内で当該減員数の範囲内。全国30人を上限)

※増員期間は平成31年度までの10年間

(以降の取扱いは、その時点の医師養成数の将来見通しや定着状況を踏まえて判断)

3. 増員計画

各都道府県及び大学の状況は別紙1参照。

	平成22年度増員数					平成22年 度定員 (予定)
	平成21 年度定 員	地域 枠増	研究 医増	歯 振 替 増	合 計	
国立 (42)	4,528	227 (37)	13(8)	25 (5)	265	4,793
公立 (8)	787	25(6)	0(0)	0(0)	25 (6)	812
私立 (29)	3,171	61 (12)	4(3)	5(1)	70 (13)	3,241
合計 (79)	8,486	313 (55)	17 (11)	30 (6)	360	8,846

()内は大学数 私立大学については募集人員の増を含む

4. 今後の手続

○ 国立及び私立大学の医学部入学定員の増員については、12月7日開催の大学設置・学校法人審議会への諮問・意見伺い、18日の答申・回答を経て、文部科学大臣が認可する予定(公立大学医学部については文部科学大臣への届出)。

5. 各大学の取組

○ 平成22年度の医学部入学定員の増員に伴い、各大学が講じようとしている取組の概要(別紙2)。

○ 増員の枠組みごとの特色ある取組例は下記の通り。

地域の医師確保のための定員増

○地域の高等学校、医療機関との連携など地域全体での医師養成

旭川医科大学

「地域社会が地域の医師を育む」という視点から、

1. 地域の高等学校や医療機関と連携し、高校生に「医療人としての職業観」を促すことを目的に、実習体験等を提供
2. 地域協力医療機関を十分に活用し、地域の基幹病院と診療所との医療連携を含む地域医療実習や少人数によるチュートリアル教育などによる6年間を通じた全学生対象の地域医療教育などを通じて、地域医療への意欲を高め、地域のヘルスコーディネータとなる資質を育む。

○地域医療で活躍する同窓生等との交流を通じた学生の支援

滋賀医科大学

地域で活躍する同窓生や医学教育に協力頂いている地域の方々を「里親」等として登録し、学生の身近な相談相手としての交流や体験学習等を行うことを通じて、学生の不安や悩みを取り除き、地域医療に対するモチベーションや愛着を高める。

○地域医療機関の医師との継続的な交流を通じた医師養成

奈良県立医科大学

卒後の地域医療への従事を目的に実施する入学試験により入学した学生を主な対象として、地域の医療機関等の医師に対し「メンター(指導者)」として協力を依頼し、春季や夏季休業期間などを活用し、入学初年度から地域の医療現場でメンタ

一から直接指導を受けるなど、地域医療に関わる医師との交流を通じて地域に教育の場を拡大し、積極的に地域に関わり地域医療の現場に役立つ総合力のある医師の育成を目指す。

○地域の拠点病院との緊密な連携を通じた卒前・卒後一貫した医師養成

和歌山県立医科大学

全学生を対象に県下の医療福祉施設への実習を継続的に取り入れ、積極的に地域に関わる地域医療マインドを育成するとともに、地域の拠点病院の指導体制の充実と緊密な連携により、地域枠入学生等が地域医療に従事しながら卒後9年間で各種専門医や大学院の学位の取得を可能にする後期研修プログラムを構築し、卒前・卒後を一貫した医師養成を図る。

○地域医療に関するサークル活動を含む地域医療教育の充実

徳島大学

地域医療に関する必修の講義や実習の充実を図るとともに、サークル「地域医療研究会」により、学生が主体的に県内外の様々な地域医療現場の視察・実習等を企画、実施し、地域医療の現状を学び、地域医療を担う意欲を高める。

○地域の拠点を中核に、地域医療を担う医師養成と地域医療の支援

愛媛大学

農山村地域に設置する「地域サテライトセンター」を教育研究の活動拠点として、学部各学年での実習教育、卒後研修、生涯教育を重点的に実施するとともに、地域医療を支援することにより、地域医療重視の医師養成と地域医療の質の向上を一体として取り組む。

○地域枠対象県との協力による地域医療教育プログラムの計画

広島大学

広島県の地域枠入学生を中心に県内へき地拠点病院・診療所での実習など6年間を通じた地域医療教育のプログラムを広島県と連携し、計画してきた実績を下に、岡山県の地域枠入学者の受入を踏まえ、岡山県内の医療機関での実習などの地域医療教育プログラムを岡山県と連携して作成する。

研究医養成のための定員増

○学部・大学院教育を連続したMD研究者育成プログラム

東京大学

学部3年次前期修了頃までに10人程度を選抜し、学会等への参加などをはじめ早期から最先端の研究活動に触れるとともに、ディスカッション能力や発表能力などを育成する。また、筆記試験の免除により学部卒業後に5人程度の大学院博士課程進学者を得て、4年間の研究活動を行い、国際的な競争力のある基礎医学分野での成果を上げることを目標とした指導を行う。

群馬大学、千葉大学、山梨大学との連携により、研究指導の交流を促進するとともに、研究実習関連のカリキュラムの相互乗り入れを検討する。

○大学院への早期進学によるMD-PhDコース

京都大学

学部1年次から約半年単位で5カ所程度の研究室で様々な研究活動に参加するラボ・ローテーション等を経て、4年次修了時点で大学院博士課程に進学するMD-PhDコース(4人程度)を設け、早期に最先端の博士研究を行い、3~4年で学位取得の後、学部で5~6年次の臨床実習を受け卒業し、優れた基礎医学研究医を育成する。

福井大学及び理化学研究所と連携し、夏期休暇等を活用した派遣や大学院における研究指導などの教育研究を行う。

○研究医としてのキャリアパスを見通したプログラム

慶應義塾大学

学部・大学院の協力によるコースを新設し、学部4年次から複数の研究室のローテーションや大学院講義の受講を経て、卒後は大学院において、埼玉医科大学、理化学研究所と連携しながら、3年以内に博士号を取得できるプログラムを設け、幹細胞医学、腫瘍医学をはじめ、医学研究を牽引できる人材の育成を図る。

学生には複数の教員をメンターとし、研究内容のみならず、豊富な国際連携を活用した研究医としてのキャリアパスまで相談をできる体制を確立する。

○法医学等の研究医養成のためのプログラム

長崎大学

法医学等の研究医養成のため、学部4年次以降の学生を対象とした研究医養成コース(定員2人)を設定し、福岡大学及び久留米大学の法医学教室等と協力し、必要な基礎医学等を履修する。さらに、学部と大学院教育との一貫性を持たせたコースによって、大学院博士課程で法医学等に関する研究を行い、3年間で博士学位の取得を目指し、将来の法医学等の基礎医学に貢献できる研究者を養成する。

○歯学部入学定員の削減を行う大学の特例

岩手医科大学

平成22年度における歯学部の募集定員を10人減の70人とするとともに、医学部入学定員に5人を振替え、歯学部卒業者を対象とする医学部学士編入学制度を設けることを通じて、口腔領域にも精通した医師の養成を目指す。

○歯学部編入学定員の削減による医学部定員増

東京医科歯科大学

平成23年度から歯学部歯学科編入学定員を少なくとも5名削減して、平成22年度から医学部医学科定員に振替え、医学部医学科定員を5名増員する。

(参考)

医学部入学定員に関する経緯

区分	国立(42校)	公立(8校)	私立(29校)	合計(79校)
昭和56年4月	4,580	660	3,040	8,280

○昭和57年9月「今後における行政改革の具体化方策について」閣議決定

医師については、全体として過剰を招かないように配慮し、適正な水準となるよう合理的な養成計画の確立について政府部内において検討を進める。

○昭和61年6月 厚生省「将来の医師需給に関する検討委員会」最終意見

平成7年を目途として医師の新規参入を最小限10%削減すべき。

○平成9年6月「財政構造改革の推進について」閣議決定

大学医学部の整理・合理化も視野に入れつつ引き続き医学部定員の削減に取り組む

平成19年4月削減後の定員	4,090	655	2,880	7,625
---------------	-------	-----	-------	-------

○平成18年8月「新医師確保総合対策」

平成20年度から、医師不足が深刻な県(青森、岩手、秋田、山形、福島、新潟、山梨、長野、岐阜、三重)及び自治医科大学の計11大学を対象に最大110名の期限付増員

○平成19年5月「緊急医師確保対策」

最大285名(各都道府県最大5名(北海道15名等)の期限付増員)

○平成20年6月「経済財政改革の基本方針2008」

「これまでの閣議決定に代わる新しい医師養成の在り方を確立」とし、「早急に過去最大程度まで増員する」と記載

平成21年4月	4,528	787	3,171	8,486
---------	-------	-----	-------	-------

[各都道府県及び大学の状況\(別紙1\) \(PDF:91KB\)](#)

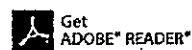
[各大学の取組の概要\(別紙2\) \(PDF:355KB\)](#)

お問い合わせ先

高等教育局医学教育課

課長補佐 樋口 聡、企画係長 大橋 美帆子(内線2509)

電話番号:03-5253-4111(代表)、03-6734-2509



PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。
Adobe Readerをお持ちでない方は、まずダウンロードして、インストールしてください。

(高等教育局医学教育課)

[文部科学省ホームページトップへ](#)

[ページの先頭に戻る](#)

[お知らせ](#) [政策について](#) [白書・統計・出版物](#) [申請・手続き](#) [文部科学省について](#) [教育](#) [科学技術・学術](#) [スポーツ](#) [文化](#)

[ご意見・お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [リンク・著作権について](#)

文部科学省 〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2番2号 電話番号:03-5263-4111(代表) 050-3772-4111 (IP 電話代表) 案内図

Copyright (C) Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

平成22年度医学部入学定員の増員に係る都道府県及び大学の申請等の状況

都道府県名		地域枠増員			研究医増員	歯学振替増員	H22定員(予定)	弾力化に基づく増員意向による地域枠増
	大学名	合計	県内	県外				
北海道		10	10					5
	北海道大学	7	0	0	0	7	112	
	旭川医科大学	10	10	0	0	0	122	5
	札幌医科大学	0	0	0	0	0	110	
青森県		5	5					
	弘前大学	5	5	0	0	0	125	
岩手県		10	10					5
	岩手医科大学	15	10	0	0	5	125	5
宮城県		7	7					2
	東北大学	9	7	0	2	0	119	2
秋田県		7	7					2
	秋田大学	7	7	0	0	0	122	2
山形県		5	5					
	山形大学	5	5	0	0	0	125	
福島県		7	5	2	帝京大学1、日本医科大学1			
	福島県立医科大学	5	5	0	0	0	105	
茨城県		7	2	5	東京医科歯科大学2、杏林大学1、東京医科大学2			
	筑波大学	2	2	0	0	0	110	
栃木県		5	5					
	自治医科大学	0	0	0	0	0	113	
	獨協医科大学	5	5	0	0	0	115	
群馬県		7	7					2
	群馬大学	7	7	0	0	0	117	2
埼玉県		5	5					
	埼玉医科大学	5	5	0	0	0	115	
千葉県		7	5	2	順天堂大学1、日本医科大学1			
	千葉大学	5	5	0	0	0	115	
東京都		10	10					5
	東京大学	2	0	0	2	0	110	
	東京医科歯科大学	10	0	4	1	5	100	
	杏林大学	6	5	1	0	0	111	
	慶應義塾大学	2	0	0	2	0	112	
	順天堂大学	9	5	3	1	0	119	5
	昭和大学	0	0	0	0	0	110	
	帝京大学	2	0	1	1	0	112	
	東京医科大学	2	0	2	0	0	115	
	東京慈恵会医科大学	0	0	0	0	0	105	
	東京女子医科大学	0	0	0	0	0	110	
	東邦大学	0	0	0	0	0	110	
	日本大学	0	0	0	0	0	120	
	日本医科大学	2	0	2	0	0	112	

都道府県名	大学名	地域枠増員			研究医増員	歯学振替増員	H22定員(予定)	弾力化に基づく増員意向による地域枠増
		合計	県内	県外				
神奈川県		5	5					
	横浜市立大学	0	0	0	0	0	90	
	北里大学	2	0	2	0	0	112	
	聖マリアンナ医科大学	5	5	0	0	0	115	
	東海大学	0	0	0	0	0	110	
新潟県		7	5	2	順天堂大学 2			
	新潟大学	5	5	0	0	0	125	
富山県		7	5	2	金沢大学 2			
	富山大学	5	5	0	0	0	110	
石川県		5	5					
	金沢大学	7	5	2	0	0	117	
	金沢医科大学	0	0	0	0	0	110	
福井県		5	5					
	福井大学	5	5	0	0	0	115	
山梨県		7	5	2	北里大学 2			5
	山梨大学	5	5	0	0	0	125	5
長野県		5	3	2	東京医科歯科大学 2			
	信州大学	3	3	0	0	0	113	
岐阜県		7	7					2
	岐阜大学	7	7	0	0	0	107	2
静岡県		10	10					5
	浜松医科大学	10	10	0	0	0	120	5
愛知県		5	5					
	名古屋大学	4	2	0	2	0	112	
	名古屋市立大学	3	3	0	0	0	95	
	愛知医科大学	0	0	0	0	0	105	
	藤田保健衛生大学	0	0	0	0	0	110	
三重県		5	5					
	三重大学	5	5	0	0	0	125	
滋賀県		5	5					
	滋賀医科大学	5	5	0	0	0	115	
京都府		2	2					
	京都大学	2	0	0	2	0	107	
	京都府立医科大学	2	2	0	0	0	107	
大阪府		5	5					
	大阪大学	5	0	0	2	3	110	
	大阪市立大学	2	2	0	0	0	92	
	大阪医科大学	0	0	0	0	0	110	
	関西医科大学	0	0	0	0	0	110	
	近畿大学	10	3	7	0	0	105	
兵庫県		7	3	4	鳥取大学 2、岡山大学 2			
	神戸大学	3	3	0	0	0	108	
	兵庫医科大学	0	0	0	0	0	110	
奈良県		10	8	2	近畿大学 2			3
	奈良県立医科大学	8	8	0	0	0	113	3

都道府県名	大学名	地域枠増員			研究医増員	歯学振替増員	H22定員(予定)	弾力化に基づく増員意向による地域枠増
		合計	県内	県外				
和歌山県		10	5	5	近畿大学 5			3
	和歌山県立医科大学	5	5	0	0	0	100	3
鳥取県		10	8	2	岡山大学 1、山口大学 1			3
	鳥取大学	13	8	5	0	0	103	3
島根県		7	5	2	鳥取大学 2			
	島根大学	5	5	0	0	0	110	
岡山県		4	2	2	広島大学 2			
	岡山大学	7	2	5	0	0	117	
	川崎医科大学	0	0	0	0	0	110	
広島県		7	5	2	岡山大学 2			
	広島大学	7	5	2	0	0	117	
山口県		8	7	1	鳥取大学 1			2
	山口大学	9	7	1	1	0	114	2
徳島県		7	7					2
	徳島大学	7	7	0	0	0	112	2
香川県		7	5	2	愛媛大学 2			
	香川大学	7	5	2	0	0	112	
愛媛県		7	5	2	香川大学 2			
	愛媛大学	7	5	2	0	0	112	
高知県		7	7					2
	高知大学	7	7	0	0	0	112	2
福岡県		5	5					
	九州大学	5	0	0	0	5	110	
	久留米大学	5	5	0	0	0	115	
	産業医科大学	0	0	0	0	0	105	
	福岡大学	0	0	0	0	0	110	
佐賀県		7	5	2	長崎大学 2			
	佐賀大学	6	5	1	0	0	106	
長崎県		6	5	1	佐賀大学 1			
	長崎大学	15	5	4	1	5	120	
熊本県		5	5					
	熊本大学	5	5	0	0	0	115	
大分県		5	5					
	大分大学	5	5	0	0	0	110	
宮崎県		7	5	2	長崎大学 2			
	宮崎大学	5	5	0	0	0	110	
鹿児島県		10	10					5
	鹿児島大学	10	10	0	0	0	115	5
沖縄県		5	5					
	琉球大学	5	5	0	0	0	112	
都道府県合計		313	267	46				53
	大学合計	360	267	46	17	30	8846	53

私立大学については募集人員の増を含む。東京医科大学については募集定員上の増員

平成22年度医学部入学定員の増員に係る各大学の取組の概要

大学名	平成21年度定員				平成22年度増員計画				地域枠	平成22年度増員計画の概要	研究医枠	
	地域枠		増員数計	研究医枠	増員数計	研究医枠	増員数計	研究医枠				
	県内	県外										県内
[国立] 北海道大学									7	112		
旭川医科大学			10							10		
弘前大学			5							5		
東北大学			7		2					9		
秋田大学			7							7		
山形大学			5							5		
筑波大学			2							2		
群馬大学			7							7		
千葉大学			5							5		

地域の高専や医療機関との連携による実習体験や、入学後のチーム医療、病診連携を含む臨床教育の充実に加え、少人数によるコミュニティリアル教育でスキルの習得を促進させる。

早期からの地域医療関連教育の充実や、へき地医療機関での臨床実習義務化に加え、「地域医療学講座（仮称）」を新設し、プライマリケアを中心とした地域医療に密着した医学教育を行う。また、地域中核医療機関との連携により「弘前大学専門医養成病院ネットワーク」を構築し、学部教育から専門医養成まで一貫した医師養成体制を整備する。

総合診療科と地域医療機関の連携による臨床実習などの取組に加え、1年次の地域医療関連科目の中で「地域医療動機付け教育」を強化する。地域医療の多様性と実態について学び、学生の意識の向上を図る。

地域の基幹病院や診療所での臨床実習などの取組に加え、医師不足の特に深刻な特定診療科の診療支援と人材育成に関する教養研究を推進する。

小児科、産婦人科、救急医学、外科の医師養成のための専修コース（4年次以降）を設け、希望者に4年次以降の授業料を免除する本学独自の制度を設立するなどの取組に加え、Student Doctorの称号を学生に授与し、4年次から積極的に診療に参加できる臨床実習（法律内での診療）体制を整備する。

自治体の協力の下、地域医療教育拠点病院を中心に、地域住民を対象とする健康教室・乳がん検診・訪問看護などを効果的に経験できるプログラムの充実を図り、地域住民と直接ふれあうことで、地域医療に対する理解を深める教育を充実する。

チーム医療実習、公衆衛生学、地域医療実習、学内外での臨床実習などを充実し、入学早期から卒業までに、地域の様々な医療現場を体験させ地域医療を理解させる。また、地域医療研究や関連活動への参加を促し、将来の地域医療を担う人材の育成を支援する。

地域医療教育の充実により引き続き取り組むとともに、地域の医師確保の観点から、県、県医師会、関連教育施設（地域の拠点病院）相互の密接な協力体制を構築する。

平成13年度に設置した早期大学院入学制度（MD-PhDコース）を基盤に、秋田大学、山形大学と連携し、3大学の4年次学生から選抜したMD-PhDコースを設け、基礎医学・社会医学分野の研究医を養成する。

3大学が連携して進路指導や就職支援などコースの学生のキャリアパスを支援する。

大学名	平成21年度増員計画				平成22年度増員計画		平成22年度定員(計画)	地域枠	研究医枠	研究医枠	
	平成21年度定員		地域枠		研究医枠	歯学部定員(振替枠)					増員数計
	県内	県外	県内	県外							
東京大学	108					2	2	110		平成20年度に開始したMDI研究育成プログラムにより、3年次以降の学部教員と大学院院教育の連携的なコースを通じて、早期から最先端の研究活動に励み、優れた基礎医学研究者養成を図る。 群馬大学、千葉大学、山梨大学との連携により、研究指針の交流を促進するとともに、研究実習関連のキャリアプログラムの相互乗り入れを検討する。 「研究医養成コース」を設け、日本医科大学と連携し、3年次以降の学生に対し、高度な基礎研究を推進する。従来のMDI-PHDコースに加え、6年制終了後直ちに大学院に進学するコースも選択できるようにし、優れた基礎医学・社会医学研究医を養成する。 奨学金返還免除の対象に連携大学の研究員(博士研究員)の確立により、大学院修了後に研究が継続できる制度を整備する。	
東京医科歯科大学	90	4	茨城県 2、長野 県2		1	5	10	100	関東・甲信越圏の地域医療中核病院を中心とした連携に引き続き取り組むとともに、地方大学と連携した広域専門医育成体制を充実させる。		
新潟大学	120	5					5	125	被災地やへき地でのプライムドワークや体験学習を医学科全学生を対象に実施するとともに、5年次学生全員を対象とした新たな地域医療臨床実習コースを組む。地域医療を理解する専門医及び「地域医療」という専門性を備えた総合医を地域で育てることを目的に、「地域医療」に関する講義プログラムの増やへき地診療実習の導入を含む体系的なプログラムを作成するとともに、NPO法人富山地域医療教育支援センター等と連携し、卒業後の一貫した教育プログラムを検討する。		
富山大学	105	5					5	110	地域医療の重要性の認識と地域に貢献する意思を更に深化させるよう、地域医療機関における臨床実習や、地域医療機関に勤務する若手医師との懇談の充実などに取り組み。		
金沢大学	110	5	2	高山県2			7	117	「地域医療を強く志向した」教育の一環として、地域枠及び福井健康推進枠入学には特に「地域医療研修プログラム」を履修させ、地域医療教育を強化する。また、「地域医療推進講座(仮称)」の設置を検討しており、「地域医療教育プログラム」の開発、実施、点検など、卒業後の一貫した地域医療教育の強化を行う。		
福井大学	110	5					5	115	地域の診療所での地域・在宅医療体験の学習機会の増加など地域医療に従事する意識を高める教育の充実を図るとともに、「山梨県臨床研修病院等連携協議会」を中心に山梨県全体の臨床研修体制の充実を推進する。		
山梨大学	120	5					5	125	地域枠入学生に学生の出身地に近い医療機関の病院長等による学外担任を設け、夏季・春季休業等に地域医療の現状について学ぶ機会を充実させるなど、大学が地域と連携して医学学生を育成する。		
信州大学	110	3					3	113	地域医療教育に関するこれまでの取組に加え、臨床研修病院間の連携を強化し、岐阜県内医療機関の勤務による「構造的(総合)臨床医」を含む専門医取得に繋がるようなカリキュラムを作成する。		
岐阜大学	100	7					7	107	地域医療に関するこれまでの取組に加え、2年次対象に		
浜松医科大学	110	10					10	120	夏季休業中の地域医療体験学習を計画。		

大学名	平成22年度増員計画					平成22年度定員 (計画)	地域枠	平成22年度増員計画の概要	
	地域枠		研究医枠	歯学部定員 員振替枠	増員数計			地域枠	研究医枠
	県内	県外							
名古屋大学	2		2	4	112		地域枠 指導医かつコロロモデルとして総合医が在る中規模病院を選定した実習を充実するとともに、県内救急部の診療参加型臨床実習を充実させる。また、病院内で研修する若手医師に対し地域医療の重要性の意識を継続させるよう取り組む。	研究医枠 推薦選抜による医学研究者への志向性を持った学生の採用や、学部1年次からの研究医となるための実践的な教育や、学部4年次以降の学生を対象に「研究者養成コース」を設け、MD→PhDコース等により大学院に進学し、総合研究大学院大学(生命科学研究所)及び愛知医科大学と共同研究を行う中で、指導者などを通じて、基礎医学・社会医学若手研究者として自立するための指導を行う。	
三重大学	5			5	125		全学年を対象とする「地域医療体験」など、地域社会や医師不足の領域にむく実習を充実させるとともに、県内病院と病院長を形成し、三重県で卒前教育から臨床研修、専門医研修までをシームレスかつスムーズに行える体制の整備を予定。		
滋賀医科大学	5			5	115		卒業生や医学教育に協力している地域の方々を「里親」等として学生と交流する体験学習をさらに進め、地域医療に貢献できる医師を育成する。		
京都大学			2	2	107			平成13年度に開始したMD→PhDコースを基盤に、ローテーション(研究室訪問)などで研究へ取り組む意欲を醸成し、4年次修了時(6年制卒業後も可)の博士課程進学を通じて、基礎医学研究医を志向する学生を育成する。	
大阪大学			2	3	110			平成21年度に設置した「大阪大学MD研究若手育成プログラム」を基盤に、1年次からの基礎医学講座の研究紹介などを経て、大阪市立大学、岡山大学、徳島大学と交流しながら、3年次学生を選抜し、基礎医学研究への参加、卒業後の博士課程への進学を通じて基礎医学研究者を養成する。	
神戸大学	3			3	108		地域医療に関する科目を順次拡充し、各学年を通じて地域医療教育に取り組みるとともに、卒業教育においても兵庫県内の医療機関と連携の上、過疎地での研修を通じてアラナイマリ・ケアと保健・介護事業に関する知識・技術を得させる等、地域医療に関する理解を深める教育を一貫して実施していく。		
鳥取大学	8			13	103	兵庫県 2、島根 県2、山口 県1	地域医療機関に関する教育・研究・診療を担う地域医学講座を設置し、地域医療への理解を深める取組を行う予定。		
島根大学	5			5	110		「地域医療支援講座(原称)」の設置を通じて、卒前から卒業後教育まで一貫した地域医療教育体制の更なる充実と、卒業後の医師派遣・研修システムの構築を予定。		
岡山大学	2			7	117	兵庫県 2、鳥取 県1、広島 県2	医療マネジメント能力と臨床研究能力に長け、全人的医療を志向する臨床専門医の養成を旨とし、従来の取組に加え、地域医療の現場で働く卒業生を招いた講義や、休暇期間に学生が医療機関に滞在して現場を実体験する取組を拡充し、地域医療に関する教育を充実させる。		

大学名	平成21年度定員					平成22年度増員計画					平成22年度増員計画の概要	
	地域枠		研究医枠	増員数計	平成22年度定員(計画)	地域枠		研究医枠	増員数計	平成22年度定員(計画)	地域枠	研究医枠
	県内	県外				県内	県外					
広島大学	5	2	岡山県2	7	117			7	117	地域枠入学生に対し、広島・岡山両県の地域医療に資するための「地域医療連携プログラム」を策定・実施するとともに、地域医療機関の臨床指導医を定期的に関わり地域に根ざした医療人の養成を目指す。	研究医枠	
山口大学	7	1	鳥取県1	9	114			9	114	学部カリキュラムの中で地域医療マインドを育成する教育の更なる充実や、卒前、卒後の切れ目ない医学教育及び研修の充実によって、地域医療マインドを持った医師を育成し、地域住民が安心して医療を受けることができ、地域医療の発展を図る。		
徳島大学	7			7	112			7	112	地域医療に関する必修の講義及び実習の充実を図るとともに、サークル「地域医療研究会」の学生等に対し、県内のみならず全国のへき地・離島実習や研究会への参加を支援する。さらに、地域医療機関との連携を深め、指導者のレベルアップを図るための研究会開催などを積極的に進める。		
香川大学	5	2	愛媛県2	7	112			7	112	地域医療に特化した寄附講座の設置により地域医療実習等の充実を図るとともに、県、県医師会、県内中核病院等と協力し、専門医師および総合医の育成を目的とした研修プログラム「香川県医師育成キャリア支援プログラム」の策定を進める。		
愛媛大学	5	2	香川県2	7	112			7	112	麓山村地域に設置した「地域サテライトセンター」を教育研究の活動拠点に、実習教育、卒業研修、生涯教育を実践する取組を充実させ、異なる地域医療重厚の医師養成を図る。		
高知大学	7			7	112			7	112	全ての学生に質の高い地域医療教育をするため、県内臨床研修病院と連携した卒前実習などのカリキュラムの充実を図るとともに、実際に地域医療に携わる者を招いた地域医療学などの取組を充実させる。		
九州大学				5	110			5	110	地域医療関連の授業科目について、実習期間の拡大や地域医療機関との連携強化により「地域医療実習」の強化を図るとともに、関係機関と医学部で構成する「地域医師研修協議会」を設置し、地域枠学生の段階的な支援策を検討する。		
佐賀大学	5	1	長崎県1	6	106			6	106			
長崎大学	5	4	佐賀県2、宮崎県2	15	120			15	120	地域枠入学生への5週間の離島地域医療実習（五島列島）などを必須とするとともに、きめ細かい指導を行い、地域医療を担う医師を養成する。		
熊本大学	5			5	115			5	115	地域中核病院あるいはへき地診療所における臨床実習の拡充や新たな授業科目の設置を図るとともに、「医学教育センター（仮称）」を設置し、地域医療教育を含む医学教育の充実に取り組み。		

大学名	平成22年度増員計画					平成22年度定員 (計画)	地域枠	平成22年度増員計画の概要	
	地域枠		研究医枠	増員数計	増員数計			地域枠	
	県内	県外							都道府県
大分大学	5				5	110	地域枠	1年次生による外米薬内等のポランテニア実習などの取組に加え、地域医療センターを設置し地域医療教育の充実を図るとともに、地域の医療人教育をも視野に入れ、たすきキルスタスラボの設備を行う	
宮崎大学	5				5	110	地域枠	へき地等での体験実習等の取組に加え、「地域医療セミナー」を月1回開催し、医学部学生が地域医療について考える機会を提供する予定	
鹿児島大学	10			10	10	115	地域枠	離島・地域医療実習の必修化をはじめ離島へき地医療人育成センターが中心となった離島医療実習の充実に加え、プロフェッションナリズムの育成を目的に、地域医療現場をさらに幅広く活用した教育の充実を予定	
琉球大学	5				5	112	地域枠	低学年から、夏期休業中の地域体験実習、離島診療所実習、他大学の地域枠学生との交流を計画する。また、地域枠学生を中心とした地域医療に関する学習サークルを立ち上げる予定	
国立計	199	28	13	25	265	4,793			

大学名	平成21年度定員					平成22年度増員計画					平成22年度定員(計画)	地域枠	研究医枠	研究医枠	
	地域枠					増員数計	増員数計	増員数計	増員数計	増員数計					
	県内	県外	都道府県	研究医枠	歯学部定員振替枠										
[公立] 札幌医科大学	110										110				
福島県立医科大学	100	5				5					105				
横浜市立大学	90										90				
名古屋市立大学	92	3				3					95				
京都府立医科大学	105	2				2					107				
大阪市立大学	90	2				2					92				
奈良県立医科大学	105	8				8					113				
和歌山県立医科大学	95	5				5					100				
公立計	787	25	0	0	0	25	0	0	0	0	812				

平成22年度増員計画の概要

大学名	地域枠	研究医枠	研究医枠
[公立] 札幌医科大学			
福島県立医科大学	ホームスライにより地域住民と触れ合いながら実習を行う取組などに加え、シミュレーション教育や医師不足の顕著な診療科の医療現場における研修等の充実により、実践能力を備えた医師や救急・麻酔科等の医師の養成に努める。		
横浜市立大学	大学と地域との連携・協力による「地域参加型学習」を実施し、地域医療に対する親和性と責任感を育てるとともに、健全なキャリア形成に対するビジョンの形成を目指す。地域医療等教育体制を強化し、カリキュラムの企画や地域医療機関との連携を深める。		
名古屋市立大学	地域基幹病院における診療参加型臨床実習などの充実に加え、医学科生と看護学科生が合同で行うチーム医療と地域医療を地域の基幹病院等で学ぶ体験実習の必修化を計画。		
京都府立医科大学	救急医療や地域医療・保健に関する多様な実習をさらに充実するとともに、産婦人科医、小児科医、救急医、麻酔科等の重点化診療科の医師育成・確保のため、府下公的医療機関の連携によって卒業後約10年で独り立ちできる研修プログラムを作成する。		
大阪市立大学	地域に教育の場を拡大し総合力のある医療人を育成するため、地域医療実習の充実を図るとともに、地域医療機関の指導医を「メンター」とし春季や夏季休業中にメンターの直接指導を受けさせざる取組を推進するなど、「地域基幹型医療実習カリキュラム」を進める。		
奈良県立医科大学	現在学部教育で行っている地域医療マインド育成プログラムを充実し、一部診療科で行っている地域病院での臨床実習を全学生に行うとともに、卒業9年間において専門医や学位の取得を可能にする地域医療研修対象学生のたの後の後期研修プログラムを構築する。研修プログラムを効果的に活用するため、拠点病院の受入体制の強化や連携医療システムなどの構築を計画。		
和歌山県立医科大学			
公立計			

大学名	平成22年度増員計画					平成22年度定員(計画)	地域枠	平成22年度増員計画の概要		
	地域枠		研究医枠	増員数計	増員数計			地域枠		
	県内	県外							県内	県外
[私立]										
岩手医科大学	110	10		5	15	125		地域医療実習を含む臨床実習を拡充するとともに、県内全基幹型研修病院で構成する「いわてハイパーグループ臨床研修病院群」を通じて卒業研修の充実を図る。また、歯学部卒業生を対象とする医学部学士編入学制度を設け、口腔領域を含めた医師の養成を目指すことで医療過疎地域の医療に貢献する。	研究医枠	
自治医科大学	113					113		地域の分限や公的医療機関、診療所、保健所等と連携した地域医療・保健に関する臨床実習を充実させる。また、今後も継続して、地域医療機関へ医師を派遣する。		
獨協医科大学	110	5		5	5	115		地域での障害者や高齢者医療・福祉に関する早期からの実習などの取組に加え、地域医療機関での実習を取り入れた診療参加型臨床実習の充実を計画。また、「生涯教育支援センター」の設置を通じて卒前卒後、生涯教育までの一貫した教育を支援する。		
埼玉医科大学	110	5			5	115		学生教育等の指導体制の強化を図るとともに、地域医療に関する教育内容の充実を図り、地域枠入学生が地域医療への使命感を深めるよう支援を図る。		
杏林大学	105	5	茨城県1		6	111				
慶應義塾大学	110			2	2	112			学部・大学院の協力によるグローバルコースを新設し、学部4年次からの研究室のローテーションや大学院講義の受講を促して、卒業後博士課程に進学し3年以内で博士号を取得するプログラムを設け、医学研究を牽引できる人材の育成を図る。学生には複数の教員をメンターとし、研究内容のみならず、豊富な国際連携を応用した研究医としてのキャリアパスまで相談をできる体制を確立するとともに、埼玉医科大学、理化学研究所と大学院における連携教育を行う。	
順天堂大学	110	5	千葉県3 1、新潟県2	1	9	119		小児・周産期・救急医療等の地域医療に関する授業を充実させるとともに、東京都、新潟県、千葉県地域枠入学生に対し、当該自治体と協力した地域医療プログラムを行う。		
昭和大学	110					110		基礎医学研究者養成プラン(仮称)を設置し、新潟大学と連携し、3年次以降の学生に対し、若手教員等の指導のもとで基礎研究を行うことが出来るコースを設け、大学院においてはメンターによる指導のもと、主として英語環境下での研究指導を推進し、国際的に通用する研究医を養成する。		
帝京大学	110	1	福島県1	1	2	112		地域医療に関する体系的な科目を設定するとともに、分野に地域医療センターを設置することによりプライマリ・ケアに関する指導体制を強化し、地域の診療所・病院と連携した実習を充実させる。		
東京医科大学	113	2	茨城県2		2	115		東京慈恵会医科大学、昭和大学、東邦大学と総合診療・家庭医療・地域医療・他職種連携医療を担う医師養成のカリキュラムを共同開発するとともに、地域の診療所や小規模病院での地域医療実習を充実させる。		
東京慈恵会医科大学	105					105				
東京女子医科大学	110					110				
東邦大学	110					110		公衆衛生医養成重点化プログラムを設け、学部4年次以降の学生に対し学部・大学院を貫く特別コースとして組織化し、理論や方法論の備わった公衆衛生医を養成する。筑波大学、東京大学及びびハーバード大学への国内外留学も旨めた共同研究などを通じて連携を図る。		

大学名	平成21年度定員					平成22年度増員計画					平成22年度定員(計画)		地域枠	研究医枠	研究医枠	
	地域枠		研究医枠	増員数計	増員数計	増員数計	増員数計	増員数計	増員数計	増員数計	増員数計	増員数計				
	県内	県外														
日本大学	120											120				
日本医科大学	110	2	福島県 1、千葉 県1				2					112				
北里大学	110		2	山梨県2			2					112				
聖マリアンナ医科大学	110	5					5					115				
東海大学	110											110				
金沢医科大学	110											110				
愛知医科大学	105											105				
藤田保健衛生大学	110											110				
大阪医科大学	110											110				
関西医科大学	110											110				
近畿大学	95	3	奈良県 2、和歌 山県5				10					105				
兵庫医科大学	110											110				
川崎医科大学	110											110				
久留米大学	110	5					5					115				
産業医科大学	105											105				
福岡大学	110											110				
私立計	3,171	43	18			4	5	70				3,241				
合計	8,486	267	46	0	17	30	360					8,846				

私立大学については募集人員の増を含む。東京医科大学については募集定員上の増員

平成22年度増員計画の概要

付風病院総合診療センターでの救急、総合診療、地域医療に関する実習や、へき地の病院も選択できる実習を充実させる。
6年次の地域医療実習等に加え、低学年から高学年まで継続性を持たせた早期臨床実習の充実、並びに卒業前・卒業後一貫教育における卒業臨床研修への連携を持たせた卒業臨床実習の充実などを含むカリキュラム改定を検討。
地域医療等を早期から理解させるため、プライマリ・ケアなどの教育の充実を図るとともに、臨床実習期間の延長を検討するなど、卒業前・卒業後を通じて地域医療機関との連携による医師養成に努める。

和歌山県、大阪府、奈良県の地域枠学生にそれぞれ当該府県の主要な中核病院を拠点として、臨床実習を必修とし、地域医療に親和性の高い学生を養成するとともに、患者や地域住民の気持ちや背景に共感できる態度を養成する。

地域の訪問により住民の医療健康の課題を調査研究するなどの取組に加え、地域枠入学生に対し、関連病院の最を招いた産科、外科、麻酔科等の講義やドクターヘリなどの救急医学の講義など6年間を通じた体系的な地域医療プログラムを実施する。